

樋口産商 株式会社

## 自動溶着ラインを確立し 農家に安価で高品質なポリフィルムを届ける

ビニールハウスに使われるポリフィルム事業の強化に乗り出した同社。

その鍵となる設備を最新型自動溶着機に更新したことで売上を大幅に向上させました。



代表取締役

樋口 和喜

ひぐち かずき

### 最新型自動溶着機によって 新事業が急成長

#### 創

業以来、鰻の飼料と  
農業用資材の製造・  
販売を行ってきた同社。

近年、鰻の稚魚の漁獲量が  
激減していることもあり、  
農業用資材、中でもビニ  
ールハウス用フィルム事業の  
強化に着手しました。

ちょうどその頃が、ビ

ニールハウスのフィルム  
素材が、ビニールからより  
耐久性があり廃棄コストも  
不要なポリフィルムへの転  
換期だったこともあり、同  
社では需要拡大をにらんで  
ポリフィルムの加工に注力  
することに。効率良く高品  
質のポリフィルムを製造す  
るために新たな溶着機を導入  
します。

「ビニールハウス用の  
フィルムは、原材料となる  
フィルム2〜3枚を溶着さ  
せて規定のサイズに仕上げ  
ます。例えば6×55メー  
ルの製品の場合、既存の溶

着機では1度で1カ所の溶  
着しかできないため、3度  
の工程が必要で、完成まで  
に1時間もかかっていまし  
た。しかもスタッフが4〜  
5名必要。ポリフィルムの  
事業を伸ばしていくために  
は生産効率を上げることが  
不可欠だったんです」

#### 同

社が導入した自動溶  
着機は、シートの厚

みや材質に合わせて簡単に  
温度を設定でき、高速で連  
続加工ができる優れたもの。前  
記同様の製品を、スタッフ2  
名、3分の1の時間で仕上げ  
られるようになりました。

「自動溶着機によって加  
工効率が上がったことで、  
高品質なポリフィルムを  
安価でお届けすることが  
可能になりました。今後  
も、さらに事業を拡大し  
て農家さんの力になって  
いきたいです」



溶着加工される前の材料。  
現在はほとんどのビニール  
ハウスでポリフィルムが使  
われている。



機械の設定から施工  
までこれまでの半分  
の2名で対応できる。



手動で行っていた作業が自動化されたことでスタッフ  
による精度や品質の差が解消された。



ものづくり  
補助金活用  
ココが  
ポイント!

## 施工に掛かる人員が約1/2に

従来4〜5名で行っていた溶着作業が、自動溶着機の導入によって  
2名で対応可能になった上、製造時間が1/3に。余剰人員を他の作業に  
当てられるようになり、工場全体の作業効率もアップしました。

最大で7メートル幅まで溶着可能。

### ものづくりへの想い

もともとは県内の農業者が主なお客さんだった  
のですが、当社製品の評判を聞いて関東や  
関西からも注文をいただくようになりました。  
新富という地から遠く離れた農家さんの力に  
なれていることに喜びを感じています。

### 今後の展望

溶着機の後に加工済のビニールを折りたたむ  
機械を導入したのですが、当社には女性従業員が  
多い上、人員にも限りがあるので、これからも  
積極的に新しい機械を導入して労力の削減に  
取り組んでいきます。

case  
02

農業資材・水産飼料販売業

樋口産商 株式会社

設立：1977年  
代表取締役：樋口 和喜  
資本金：1,000万円  
従業員：27名  
事業内容：農業資材・水産飼料の製造販売

〒889-1404  
宮崎県児湯郡新富町大字下富田1881  
TEL.0983-33-0337  
FAX.0983-33-0331

<http://www.noufilm.com/>

